

## 36 シートベルト・チャイルドシート着用促進対策

### 1 シートベルト・チャイルドシートの非着用の危険性

通常、成人が手や足で支えられる力は、体重の2倍程度と言われており、例えば60kgの成人男子がいざという時、支えられるのは120kgという事になります。それがどの程度の威力かという、時速約7キロになります。速度40キロで走行中に事故にあった場合に、体に加わる力は体重の10倍にも達し、そのため手足で支えきれず、

- 交通事故の衝撃で全身を車内で強打する可能性がある
- 交通事故の衝撃で車外に放り出される可能性がある
- 後部席で着用しなかった場合、前席の人と衝突し、両者が怪我をする可能性がある

ことなどが挙げられます。

### 2 沖縄県のチャイルドシートの使用率が低い

チャイルドシートの使用率について、平成25年4月に警察とJAFとの合同による「チャイルドシート使用調査」を行なったところ、県内の使用率は、**46.0% (全国平均60.2%)** という極めて低い結果でした。

### 3 県警察の取組

県警察では、シートベルト・チャイルドシートの着用・使用を徹底するため、

- 産婦人科や保育園の職員、保護者などにチャイルドシート着用の重要性を指導
- チャイルドシートの正しい取付け方法の指導
- シートベルトコンビンサーを活用した体験型交通安全教室

等の安全教育を中心とした事故防止対策を推進しています。



**シートベルト・チャイルドシートは正しく着用し、自分自身だけでなく同乗している家族や子供などの大切な命を守りましょう。**

